

食べるって、大切なんだ！

帯広市は「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策（フードバレーとかち）をここ数年、取り組んでいて、特に小中学校では、「食育の授業」がさかんに取り入れられています。

その中であって、本園でも、数年前から「まつもと薬局」に協力をいただいて本格的に取り組んでいるところです。そこで、6月12日（火）今年2回目となる「食育の授業」を、年長さん（もり組・そら組）が行いました。

まず、①一人ずつ、箱から食材が書かれた「くじ」をひく。②さんまやキャベツ・うどんやかになどたくさん並んだ食材の中から、自分がひいた食材を探す。③食材を見つけたら、三大栄養素（赤・黄・緑）のどのグループか考えて分ける。というゲームに挑戦。

子どもたちは、くじに書かれた食材の名前は、よく知っているようですが、それがどんな形なのか、分からない（知らない）子がいたり、キャベツとレタス、さんまとさけなど似ている食材を取り違えている子がいるなど、子どもたちにとってはちょっと難しいゲームでした。

最近では、お買い物に行っても、魚は切り身で売っていたり、野菜は、カットされて売っていたりすることが多くなり、子どもたちは、調理する前の食材の姿（形）を目にする機会が少なくなったかもしれませ

んね。

最後に、まつもと薬局の川村さんから、「みんなよく知っているね。これからは、赤や黄色、緑のどの色の食べ物も大切なので、好き嫌いしないで食べてね」と、授業を締めくくっていただきました。

↑ これは、どのグループかな？

→ 「レタスとキャベツは見分けるのが難しいね」と説明する川村さん



「C(虫歯)」と言われましたか？

6月7日(木)、年に一度の「歯科検診」が行われました。今年は、市内で開業されている

林歯科医（ヒロ ハヤシ歯科）にご協力をいただき、全園児 224 名の歯を診ていただきました。以前でしたら、子どもに「歯医者さんに診てもらおうよ」と言っただけで、怖いイメージがあったものですが、本園の子は、嫌がる子は、ほとんどいませんでした。

《林歯科医師のお話》

・思っていた以上に、虫歯が多いなあという印象でした。今回、「虫歯」だと言われた子は

できるだけ早く、近くの歯医者で受診



してもらってください。保護者の皆さんの中にはお子様の「不整交合」を心配される方も多いようですが、治療を始めるのは、小学校に入学する頃からでも、間に合います。

※全員の歯を診ていただいた後、林歯科医から子どもたちに、正しい歯の磨き方を教えてくださいました。 林先生→



1 全ての歯をしっかりと磨く。

2 磨き終わったら、必ず、お家の人(大人)にも磨いてもらう。

皆さんは、「8020運動」という運動を知っているでしょうか。これは、「80歳になっても、20本の自分の歯で食べよう」というものです。森の子も、今から、しっかりと歯磨きをして、80歳になっても、自分の歯でしっかり食事ができるといいですね。

《教育実習生紹介》

6月11日～6月29日までの3週間、帯広大谷短期大学から2名の学生さんが教育実習を行っています。お二人にインタビューしました。

←あやの先生(右)とひなの先生(左)

『帯広の森幼稚園の子の印象は』

・困っているお友だちがいれば助けてあげてお手伝いが大好きで優しい子ばかりです。(ひなの先生)



『帯広の森幼稚園の印象は』

・先生方や子どもたちも、みんな生き生きとしていて、私自身も良い刺激を受けました。(あやの先生)

『一番印象に残った実習中の出来事は』

・年少さんが初めてのプールなのに怖がる様子もなく本当に楽しそうにしていました(あやの先生)

・5歳児のドッチボールは、本当に強くて速いのですぐに当たってしまいました(ひなの先生)